

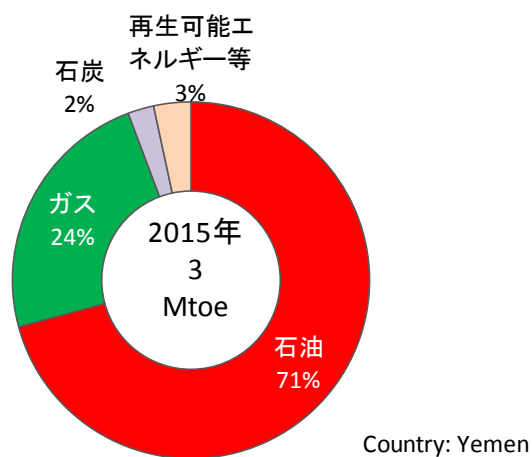
4-10 イエメン

1. サマリー

1. エネルギー事情

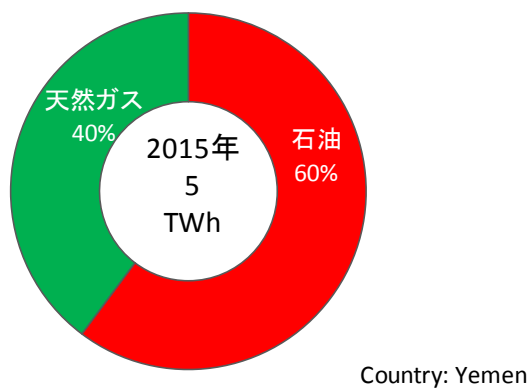
- (1) 一次エネルギー供給量 (2015年) : 3 百万 toe (日本の 0.01 倍)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量 (2015年) : 0.13toe (日本の 0.04 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 119%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 11.1 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 1.0%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 0.40 CO₂ 換算 ton (日本の 4.4%)
- (6) エネルギー別可採年数 (2016 年末) : 原油 500 年以上、ガス 100 年以上

一次エネルギー供給構成 (2015 年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成 (2015 年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 石油・ガス・鉱物資源省 (Ministry of Oil & Mineral) が石油・ガス政策の担当機関である。本省に直結してイエメン総業 (Yemen General Corporation; YGC) があり、この下に石油ガス鉱区管理会社、投資会社、石油精製会社、石油輸出管理会社、鉱区契約会社などの各分野を担う国営企業が組織されている。

電力省 (Ministry of Electricity & Energy) 傘下の国営電力会社 (Yemeni Public Electricity Corporation; PEC) が発電・送電・配電を担っている。

(2) 基本政策

- 石油の輸出が国家の財政基盤である。これに加えて、天然ガス事業を、財政を支えるもうひとつの柱にしようとしている (2009年10月にLNGの生産・輸出を開始)。
- 貧困対策および国内経済の推進のため、社会インフラとしての電化率の向上を目指す。

(3) 最近の動向

- 1990年に南イエメンと北イエメンとが統合されて誕生した国家は、2017年に至っても南北対立・緊張関係の解消には至っていない。
 - 2011年に発生した「アラブの春」の騒乱による Saleh 大統領の退陣、地方での治安維持能力の低下、イスラム過激派の勢力拡大で、国内経済が悪化した。
 - 2014年8月以降の反政府の Houthis 派との抗争は、2015年2月の Houthis 派による独自の憲法宣言、大統領派と Houthis 派による軍・政府機関、石油施設や港湾の争奪戦、2015年3月のサウジアラビア率いるアラブ有志連合による軍事介入へと広がり、国内情勢はさらに混迷した。
 - 2016年11月、Houthis 派は正式な「内閣」を名乗る統治体を発足させたが、これを国際社会は承認していない。
 - 2017年11月、Houthis 派によるサウジへの弾道ミサイル発射が報じられた。
 - 2017年12月、Houthis 派は共闘を解消した Saleh 前大統領らを殺害した。
- 2011年半ば以降、石油・ガス施設への襲撃が繰り返されており、国家歳入に大きな影響が出ている。原油生産量は、2011年イエメン騒乱までは30~40万 b/d だったが、2016年には1.6万 b/d にまで減少している。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2016年は原油、LNGともにイエメンからの輸入はなかった。
- 危険情勢悪化を受けて2015年2月、在イエメン大使館は一時閉館。サウジアラビア・Riyadhにてイエメン関係業務を継続中。2017年11月現在の危険情報は「全土退避勧告」。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Yemen

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		3 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		0.13 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.17 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		119 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		11.1 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		0.40 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	2 %
	石油	71 %
	天然ガス	23 %
	原子力	0 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	3 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-19 %
(9) 石油の輸入依存度		37 %
(10) 輸入原油の中東依存度		NA %
(11) 天然ガスの輸出先	第1位	韓国
	第2位	インド
	第3位	中国

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(11) : Natural Gas Information 2017, IEA